

01 学び *Learning*

「スポーツ科学」「教える力」を
深く学ぶ 教員との
距離の近さが際立つ

スポーツ科学に関する授業の質は講義も実技もハイレベル。スポーツ科学部は6コースあり、この6分野すべてをカバーしている大学は全国でもまれです。教育学部は約9割、スポーツ科学部では約6割が教員免許を取得するなど、「教える力」を磨く環境が整い、高い教員採用試験合格率につながっています。学習支援室による個別の1対1指導など、基礎学力の向上と各種採用試験の合格に向けた支援も充実。チューターの他、内定の4年生が後輩を指導します。文武両道を目指したクラブ生への学修支援は、大学スポーツ協会 (UNIVAS) から最優秀賞を受賞しました*。学生と教員の距離感が近く、親身な指導と「面倒見の良さ」が伝統です。

※2021-2022 UNIVAS AWARDS



スポーツを、生き抜く力に変える。 大体大4つのアドバンテージ

02 就職 *Careers*

キーエンス、ミズノ、リクルートHDなど、
大手企業、公務員に続々と内定

【公務員合格 2年連続100人超】

公立学校の教員採用試験(2026年度採用)は、元校長など多彩な教員、スタッフが面接指導などを徹底し、150人が合格しました(既卒含む。2026年2月末現在、新卒は延べ)。企業では、キーエンス、ミズノ、リクルートホールディングスなど大手に多数就職。人事担当者からコミュニケーション能力、リーダーシップといった非認知能力が高く評価され、ゼミ、インターンシップ、クラブなどを通じた人間形成が活きています。公務員試験(警察官、消防官、自衛官、行政職など)は2年連続で100人以上が合格(2026年2月末現在)。特に消防官は、2020年度採用では就職率が全国1位(4.7%)*となるなど多数が合格しています。

※東洋経済新報社刊「本当に強い大学2020」



03 施設 *Facilities*

6専用体育館と多数の競技場が隣接。学内診療所など心身のサポートも万全

競技別の専用体育館6棟と日本陸連第3種公認の陸上競技場、いずれもミスト散水装置完備のサッカー場とラグビー場、野球場、大学屈指の規模の屋内野球練習場、テニスコートなどがそろい、競技専用施設の充実度は全国でトップクラス。スポーツと教育・研究のすべての施設が1キャンパスに集中、クラブ生にとって午後4時過ぎまで授業、その後すぐにクラブ活動と時間を有効に使えます。心身のサポート体制もトップ級。全国でもまれな診療所があります。S&Cルームは最新鋭マシンが並び、アスレティックトレーニング(AT)ルームの設備も充実。学生相談室・スポーツカウンセリングルームではプロチーム、日本代表選手のメンタル指導にあたる教員らが親身に対応します。



大阪体育大学は日本を代表する「スポーツの総合大学」。競技スポーツ、コーチング、保健体育、スポーツ心理、スポーツマネジメント、トレーニング、コンディショニング、健康など幅広い分野のスポーツ科学を学び、社会に貢献できる知識やスキルを修得します。卒業後は、プロ・実業団選手やスポーツ指導者、トレーナーなどとして日本のスポーツを支えるとともに、教員や警察官、消防官など公務員、ビジネスパーソンなどとして社会を広く支えています。

04 クラブ *Clubs and Activities*

プロ・実業団に38選手、日本代表級の指導者ら専任教員が連日指導

全学生の7割以上がクラブに所属。プロ・実業団に38選手が進みました(2024年度卒業生)。同じ志を持った友人との切磋琢磨で磨かれた人間力は、卒業後もあなたを支える重要な資質になります。各カテゴリーの日本代表など世界を舞台に活躍してきた多数の指導者を始め、強化クラブを中心に指導者の大半は専任教員であり、競技力だけでなく勉学、生活態度にも目を配り、ほぼ連日指導。指導教員と学生との間に強い絆が育まれます。本学にとってクラブは教育、人間形成の場です。また、全クラブの統括組織として、全国に先駆けてスポーツ局を設置。育成・強化に加え、修学、キャリア形成、生活も支援しています。

